

# アスファルト合材工場における地震災害への備えについて

2024年8月8日、気象庁は南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震が発生する可能性がふだんと比べて高まっているとして「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。

気象庁は、この情報が特定の期間中に必ず地震が発生することを伝える情報ではないとしたうえで、巨大地震に備えて防災対策の推進地域に指定されている29の都府県の707市町村に地震への備えを改めて確認してほしいと呼びかけています。

これを受けて、地震災害への応急対策として、アスファルト合材工場での具体的な対応策をまとめました。

以下に示した項目の限りではありません。地域性などを踏まえた上でご参照いただき、各工場の安全対策の確認や補完材料としてご活用していただけたら幸いです。

## 1. 事前準備

- ・**緊急時対応チームの編成**：緊急時に対応するための専任チームを編成し、役割分担を明確にすること。
- ・**緊急連絡網の整備**：従業員全員の連絡先を把握し、迅速に連絡が取れるようにしておくこと。
- ・**避難ルートと避難場所の確認**：工場内外の避難ルートと避難場所を明示し、従業員全員で確認すること。
- ・**緊急時対応手順の確認**：緊急時の対応手順（避難指示、初期消火、緊急連絡など）を再確認し、全従業員に周知すること。
- ・**非常用備蓄品の準備**：食料、水、医薬品、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、バッテリーなどの備蓄品を確認・補完すること。
- ・**危険物の安全確保**：有害物質や可燃物を安全な場所に保管し、漏洩や火災を防ぐこと。
- ・**重要設備の固定**：合材プラントや設備機器を地震に備えて固定し、転倒や移動を防ぐこと。
- ・**データのバックアップ**：重要な業務データや書類のバックアップを取り、安全な場所に保管すること。
- ・**緊急時連絡先一覧表の確認**：消防、警察、病院、ガス会社、電力会社、水道局などの連絡先を一覧にしておくこと。
- ・**非常通信手段の確保**：非常時に使用できる通信手段（衛星電話や無線機など）を準備すること。
- ・**情報収集手段の確保**：地震発生時に必要な情報を迅速に収集できる手段を整備すること（ラジオ、防災アプリなど）。
- ・**高所作業の中止**：地震発生の注意報が出ている間は、高所作業を中止すること。
- ・**設備の安全な停止の確認**：緊急時に全ての機械を安全に停止させる手順を確認しておくこと。

## 2. 地震発生時の対応

- ・**避難指示**：地震発生時には速やかに従業員全員に避難指示を出すこと。
- ・**安全確認**：手順に従い自身の安全を確保しつつ、周囲の従業員の安全を確認すること。
- ・**工場設備の完全停止**：事前に確認した手順に従い、すべての機械を安全に停止させること。
- ・**初期消火**：小規模な火災が発生した場合、初期消火を試みる。ただし、無理をしないこと。
- ・**緊急連絡**：必要に応じて、消防、警察、医療機関に連絡を取ること。

## 3. 地震後の対応

- ・**従業員の安否確認**：全員の安否を確認し、必要に応じて医療機関に連絡する。
- ・**被害確認**：工場内外の被害状況を確認し、二次災害を防ぐための措置を講じること。
- ・**復旧作業**：安全が確認された後、段階的に復旧作業を開始する。電気、ガス、水道などのインフラの状態を確認すること。
- ・**情報収集**：地元自治体や関連機関からの情報を収集し、適切な対応を検討すること。